

2023/07/23(日) 至仏山

メンバー:L 辻・福田・有賀・会員外 1

朝 4 時茅野出発→尾瀬戸倉第一駐車場 7:30 バスとの共通券でジャンボタクシー乗車。到着順にタクシーを出してくれるのでタイムロス無く鳩町峠に 8:00 着。ありがたい。

鳩待峠からは尾瀬散策に向かう人、周回コースで山の鼻に向かう人が大半。ピストンで山頂を目指す人はほとんどなく、カッコーの声を聴きながらの静かな階段地獄が続く。階段地獄が終わる頃到着した原見岩からは広大な尾瀬ヶ原の向かいに燧ヶ岳がそびえ立つ。長く続く木道脇に池塘が広がり、ワタスゲが風に揺れる。その向こうに岩山の小至仏山が見えるといよいよ急登の始まりだ。

曇りがちな天気でお日様が出ると暑い、時々涼やかな風もあり意外と歩きやすい。小至仏山の頂は狭く人も多いため帰りに寄ることにして通過。登山道の脇には黄色のキンコウカの群生が広がる。ナデシコ、タカネシオガマ、イワシモツケ、タカネシュロソウ、イワイチョウ、白山シャクナゲ、ミネウスユキソウなど 30 種以上の高山植物が次から次と咲き乱れ、写真を撮りながらのゆっくり山行となる。さらに山の鼻からの周回の登山者が下りてきてすれ違いに時間がとられる。黒光りする蛇紋岩に足をとられないよう気を使いながらたどりついた山頂は人、人、人。20 人以上の団体が 2 グループ。岩だらけの狭い山頂は 50 人を超える登山者で埋め尽くされ、記念写真を撮るのも順番待ちだ。

おまけに大群生のトンボが飛びかい人とトンボが共演。なんと賑やかな山頂風景だろう。山頂からの展望は生憎ガスがかかっており、一瞬の晴れ間に下界が見え隠れ。

帰りのこともありさっさと切り上げ下山へと向かう。岩山の岩稜帯は歩きにくく、滑る蛇紋岩に足を取られないよう気を配りながら下山。幸い木道も木段も乾いており、後半は順調に下山することができた。

鳩待峠のビジターセンターは登山者でごった返していた。誘惑のソフトクリームをよそ眼にジャンボタクシー乗り場へと急ぐ。尾瀬ぶらり館のお風呂は 6 人の人数制限で待ち多くあきらめ、道の駅近くの「ゆったりーなの湯」に立ち寄り、佐久 SA で夕食。9 時過ぎの帰宅となった。

遠くて日帰りはキツイ至仏山。百名山にふさわしく高山植物のオンパレード。色とりどりの花々を愛でることができ、忙しくも忘れられない一日となった。黒光りして磨かれた蛇紋岩は訪れる人の多さの象徴でもある。

【コースタイム】曇り時々晴れ 茅野発 4:00 尾瀬戸倉第一駐車場 7:30

08:07 鳩待峠

09:22 原見岩

原見岩から オヤマ沢田代の向こうに尾瀬と燧ヶ岳

10:00 オヤマ沢田代

10:50 小至仏山

11:45 至仏山 12:20 発

13:05 小至仏山

13:55 原見岩

14:40 鳩町峠



湿原から小至仏山へ



至仏山山頂にて



池塘とワタスゲ



ミネウスユキソウ



ハクサンボウフウ



キンコウカ



小至仏山



小至仏山山頂



余談:7/25(火)のヤマレコに熊の目撃情報あり。けが人が出てヘリが飛んでいたとか。
大勢の人が入山しているのに油断できないですね。

至仏山



コバイケイソウ



イワイチョウ



タカネナデシコ



タテヤマリンドウ



ニッコウキスゲ



タカネシュロソウ



タカネシオガマ



ハクサンチドリ



ウサギギク



オオバギボシ



タカネバラ



ベニサラサドウダン



イブキジャコウソウ



ホソバツメクサ



ヒオウギアヤメ



クルマユリ



ダイヤモンドソウ



イワシモツケ

